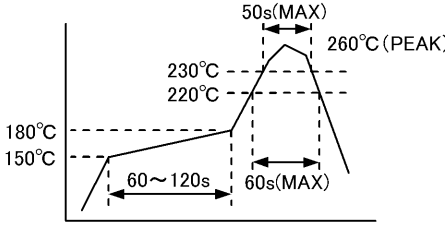


適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ 85℃ (注1)(注2)	保存温度範囲	-10℃ ～ 60℃ (注3)	
	使用湿度範囲	相対湿度85%以下 (注2)(注4)	保存湿度範囲	相対湿度70%以下 (注3)(注4)	
	電 圧	AC 60 V	電 流	0.5 A	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外觀、構造及び 仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	20 mV以下、1 mA (DC OR 1kHz)で測定する。	80 mΩ以下 (注5)	○	—
	絶縁抵抗	DC 100Vで測定する。	500 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 200Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 20.5 N 以下 引抜力 2.05 N 以上	○	—
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 初期からの変化量20mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ～ 55 Hz、片振幅 0.75 mm、 3 軸方向各 2 時間試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40℃、湿度 90～95% 中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗: 初期からの変化量20mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 500 MΩ以上	○	—
	耐熱性	温度 85℃ 中に 96 時間放置する。	③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +5～+35 → +85 → +5～+35℃ 時間 30 → MAX 5 → 30 → MAX 5 分 を 5 サイクル試験する。		○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。	① 接触抵抗: 初期からの変化量20mΩ以下	○	—
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、96 時間放置する。 (試験規格: JIS C 60068)	② コネクタの機能を損なう様な腐食等 がないこと。	○	—
	耐アンモニア	水素イオン濃度 (pH) = 1.0 試験時間: 72±4時間 試験温度: 15～35℃	接触抵抗: 初期からの変化量20mΩ以下	○	—
	はんだ耐熱性	【 リフロー 】下記温度プロファイルにて 2 回のリフローを行う。  【 はんだごて 】こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内 但し、端子に力を加えないこと。	外觀の変形及び端子などに著しいガタの 無いこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 240±3℃、浸せき時間 3 秒の はんだ付けを行う。		○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考			承認	HS. OKAWA	10. 03. 17
注1. 通電時の温度上昇を含みます。			検 図	HT. YAMAGUCHI	10. 03. 17
注2. 使用湿度が80%を超える場合の使用温度範囲は-55～40℃とします。			担 当	TP. MATSUMOTO	10. 03. 16
注3. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。			製 図	TP. MATSUMOTO	10. 03. 16
注4. 但し結露のないこと。					
注5. 嵌合相手のコネクタの電線の導体抵抗は含みません。					
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC4-330389-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	FX16M2-41S-0.5SV	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL575-3002-6-00	△ 1/1